

スクリーニングの対象とする感染症

参考資料

1. スクリーニング対象疾病

生物多様性保全の観点から、国内の希少鳥獣や野生鳥獣の個体群の保全のために優先・注目すべき感染症を検討するにあたり、以下に該当する感染症をスクリーニングの対象疾病群（母集団）とした（表）。

- ①野生鳥獣にも家畜にも感染し、家畜衛生上問題となる感染症を含むものとして、家畜伝染病予防法（以下、「家伝法」という。）で指定されている監視伝染病（家畜伝染病、届出伝染病）
- ②野生鳥獣にも人にも感染し、公衆衛生上問題となる感染症を含むものとして、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（以下、「感染症法」という。）で指定されている感染症（1～5類感染症、指定感染症、新型インフルエンザ等）
- ③人や家畜又は野生生物に被害が生じ、公衆衛生上や家畜衛生上又は野生生物の保全上の影響を与えることが国際的に懸念されているとして国際獣疫事務局（以下、「OIE」という。）が指定する陸生鳥獣の感染症（リスト疾病、非リスト疾病、新興感染症）。
ただし、リスト疾病は陸生動物衛生規約で挙げられているものとする（水生動物衛生規約で挙げられている魚類、軟体動物、甲殻類の疾病を除く）。
- ④上記①～③に含まれていない疾病であって、我が国の野生鳥獣、特に希少鳥獣への影響の可能性が懸念される疾病
（例：ネコ伝染性腹膜炎、ネコカリシウイルス感染症、ネコウイルス性鼻気管炎、コクシジウム症）

※表の疾病のうち、リスク評価の対象とする感染症の案を表中に●で示した。対象とする感染症の考え方については、資料3-2（1）を参照。

表 スクリーニング対象疾病（237疾病）

No.	疾病名	家伝法*1	感染症法*2	OIE		リスク評価対象（案）	備考
				リスト疾病	非リスト疾病		
1	牛疫（モルビリウイルス感染症）	家畜		○	○	●	
2	牛肺疫	家畜		○		●	
3	口蹄疫	家畜		○		●	
4	ウエストナイル熱（流行性脳炎の1つ）	家畜	4類	○		●	
5	日本脳炎（流行性脳炎の1つ）	家畜	4類	○		●	
6	東部馬脳炎（流行性脳炎の1つ）	家畜	4類	○		●	
7	西部馬脳炎（流行性脳炎の1つ）	家畜	4類	○		●	
8	ベネズエラ馬脳炎（流行性脳炎の1つ）	家畜	4類	○		●	
9	狂犬病	家畜	4類	○		●	
10	水疱性口内炎	家畜				●	

*1 家畜：家畜伝染病 届出：届出伝染病

*2 1類：1類感染症 2類：2類感染症 3類：3類感染症 4類：4類感染症 5類：5類感染症
新型インフル等：新型インフルエンザ等感染症

No.	疾病名	家伝法*1	感染症法*2	OIE		リスク評価 対象(案)	備考
				リスト疾病	非リスト疾病		
11	リフトバレー熱	家畜	4類	○		●	
12	炭疽	家畜	4類	○		●	
13	出血性敗血症(<i>P. multocida</i>)	家畜		○	○	●	
14	ブルセラ症	家畜	4類	○		●	
15	結核	家畜	2類	○		●	
16	ヨーネ病	家畜		○		●	
17	ピロプラズマ症	家畜		○	○	●	
18	アナプラズマ症	家畜		○		●	
19	伝達性海綿状脳症(BSE、スクレイピー、CWD)	家畜		○	○	●	
20	鼻疽	家畜	4類	○			ウマのみに感染
21	馬伝染性貧血	家畜		○			ウマのみに感染
22	アフリカ馬疫	家畜		○			ウマのみに感染
23	小反芻獣疫	家畜		○		●	
24	豚熱	家畜		○		●	
25	アフリカ豚熱	家畜		○		●	
26	豚水疱病	家畜				●	
27	家きんコレラ(<i>P. multocida</i>)	家畜			○	●	
28	高病原性鳥インフルエンザ	家畜	2類	○		●	
29	低病原性鳥インフルエンザ	家畜	4類	○	○	●	
30	ニューカッスル病	家畜		○	○	●	
31	家きんサルモネラ症	家畜		○		●	
32	腐蛆病(ヨーロッパ腐蛆病、アメリカ腐蛆病)	家畜		○			蜜蜂の感染症
33	ブルータング	届出		○		●	
34	アカバネ病	届出				●	
35	悪性カタル熱	届出			○	●	
36	チュウザン病	届出				●	

*1 家畜：家畜伝染病 届出：届出伝染病

*2 1類：一類感染症 2類：二類感染症 3類：三類感染症 4類：四類感染症 5類：五類感染症
 新型インフル等：新型インフルエンザ等感染症

No.	疾病名	家伝法*1	感染症法*2	OIE		リスク評価 対象(案)	備考
				リスト疾病	非リスト疾病		
37	ランピースキン病	届出		○		●	
38	牛ウイルス性下痢	届出		○		●	
39	牛伝染性鼻気管炎	届出		○		●	
40	牛伝染性リンパ腫	届出		○		●	
41	アイノウイルス感染症	届出				●	
42	流行性出血病ウイルス感染症(イバラキ病)	届出		○		●	
43	牛丘疹性口内炎	届出				●	
44	牛流行熱	届出				●	
45	類鼻疽	届出	4類			●	
46	破傷風	届出	5類				中毒
47	気腫疽	届出				●	
48	レプトスピラ症	届出	4類		○	●	
49	サルモネラ症	届出			○	●	
50	牛カンピロバクター症	届出	5類	○		●	
51	トリパノソーマ症	届出		○		●	
52	トリコモナス症	届出		○	○	●	
53	ネオスポラ症	届出				●	
54	牛バエ幼虫症	届出				●	
55	ニパウイルス感染症	届出	4類	○	○	●	
56	馬インフルエンザ(A型インフルエンザ感染症)	届出		○	○		ウマのみに感染

*1 家畜：家畜伝染病 届出：届出伝染病

*2 1類：一類感染症 2類：二類感染症 3類：三類感染症 4類：四類感染症 5類：五類感染症
 新型インフル等：新型インフルエンザ等感染症

No.	疾病名	家伝法*1	感染症法*2	OIE		リスク評価 対象(案)	備考
				リスト疾病	非リスト疾病		
57	馬ウイルス性動脈炎	届出		○			ウマのみに感染
58	馬鼻肺炎	届出		○			ウマのみに感染
59	ヘンドラウイルス感染症	届出	4類		○	●	
60	馬痘	届出					ウマのみに感染
61	野兔病	届出	4類	○		●	
62	馬伝染性子宮炎	届出		○			ウマのみに感染
63	馬パラチフス	届出					ウマのみに感染
64	仮性皮炎	届出					ウマのみに感染
65	伝染性膿疱性皮膚炎	届出				●	
66	ナイロビ羊病	届出		○		●	
67	羊痘	届出		○		●	
68	マエディ・ビスナ	届出		○		●	
69	伝染性無乳症	届出		○		●	
70	流行性羊流産	届出		○		●	
71	トキソプラズマ症	届出			○	●	
72	疥癬	届出			○	●	
73	山羊痘	届出		○		●	
74	山羊関節炎・脳炎	届出		○		●	
75	山羊伝染性胸膜肺炎	届出		○		●	
76	オーエスキー病	届出		○		●	
77	伝染性胃腸炎	届出		○		●	
78	豚テシオウイルス性脳脊髄炎	届出				●	
79	豚繁殖・呼吸障害症候群	届出		○		●	

*1 家畜：家畜伝染病 届出：届出伝染病

*2 1類：一類感染症 2類：二類感染症 3類：三類感染症 4類：四類感染症 5類：五類感染症
 新型インフル等：新型インフルエンザ等感染症

No.	疾病名	家伝法*1	感染症法*2	OIE		リスク評価 対象(案)	備考
				リスト疾病	非リスト疾病		
80	豚水疱疹	届出				●	
81	豚流行性下痢	届出				●	
82	萎縮性鼻炎	届出				●	
83	豚丹毒	届出				●	
84	豚赤痢	届出				●	
85	鳥インフルエンザ	届出	4類	○	○	●	
86	低病原性ニューカッスル病	届出				●	
87	鶏痘	届出				●	
88	マレック病	届出				●	
89	鶏伝染性気管支炎	届出		○		●	
90	鶏伝染性喉頭気管炎	届出		○		●	
91	伝染性ファブリキウス嚢病	届出		○		●	
92	鶏白血病	届出				●	
93	鳥結核	届出				●	
94	鳥マイコプラズマ症 (<i>M. gallisepticum</i> , <i>M. synoviae</i>)	届出		○		●	
95	ロイコチトゾーン症	届出				●	
96	あひるウイルス性肝炎	届出		○		●	
97	あひるウイルス性腸炎	届出				●	
98	兎出血病	届出		○		●	
99	兎粘液腫	届出		○		●	
100	バロア症	届出		○			蜜蜂の感染症
101	チョーク病	届出					蜜蜂の感染症

*1 家畜：家畜伝染病 届出：届出伝染病

*2 1類：一類感染症 2類：二類感染症 3類：三類感染症 4類：四類感染症 5類：五類感染症
 新型インフル等：新型インフルエンザ等感染症

No.	疾病名	家伝法*1	感染症法*2	OIE		リスク評価 対象（案）	備考
				リスト疾病	非リスト疾病		
102	アカリндаニ症	届出		○			蜜蜂の感染症
103	ノゼマ症	届出					蜜蜂の感染症
104	エボラ出血熱（フィロウイルス感染症の1つ）		1類		○	●	
105	クリミア・コンゴ出血熱		1類	○		●	
106	痘そう		1類				動物への影響が小さいと考えられる （家伝法、OIE指定なし）
107	南米出血熱		1類				動物への影響が小さいと考えられる （家伝法、OIE指定なし）
108	ペスト（エルシニア症。Yersinia pestis）		1類		○	●	
109	マールブルグ病（フィロウイルス感染症の1つ）		1類		○	●	
110	ラッサ熱		1類				動物への影響が小さいと考えられる （家伝法、OIE指定なし）
111	急性灰白髄炎		2類				動物への影響が小さいと考えられる （家伝法、OIE指定なし）
112	ジフテリア		2類				動物への影響が小さいと考えられる （家伝法、OIE指定なし）
113	重症急性呼吸器症候群（病原体がコロナウイルス 属SARSコロナウイルスであるものに限る）		2類				動物への影響が小さいと考えられる （家伝法、OIE指定なし）
114	中東呼吸器症候群（MERS）		2類	○			ラクダのみに感染
115	コレラ		3類				動物への影響が小さいと考えられる （家伝法、OIE指定なし）
116	細菌性赤痢		3類				動物への影響が小さいと考えられる （家伝法、OIE指定なし）
117	腸管出血性大腸菌感染症（ベロ毒素産生大腸菌）		3類				動物への影響が小さいと考えられる （家伝法、OIE指定なし）
118	腸チフス		3類				動物への影響が小さいと考えられる （家伝法、OIE指定なし）
119	パラチフス		3類				動物への影響が小さいと考えられる （家伝法、OIE指定なし）
120	E型肝炎		4類				動物への影響が小さいと考えられる （家伝法、OIE指定なし）
121	A型肝炎		4類				動物への影響が小さいと考えられる （家伝法、OIE指定なし）
122	エキノコックス症（単包性、多包性）		4類	○		●	
123	黄熱		4類		○	●	
124	オウム病（鳥のクラミジア症）		4類	○		●	

*1 家畜：家畜伝染病 届出：届出伝染病

*2 1類：一類感染症 2類：二類感染症 3類：三類感染症 4類：四類感染症 5類：五類感染症
 新型インフル等：新型インフルエンザ等感染症

No.	疾病名	家伝法*1	感染症法*2	OIE		リスク評価 対象（案）	備考
				リスト疾病	非リスト疾病		
125	オムスク出血熱		4類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
126	回帰熱		4類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
127	キャサナル森林病		4類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
128	Q熱		4類	○		●	
129	コクシジオイデス症		4類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
130	サル痘		4類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
131	ジカウイルス感染症		4類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
132	重症熱性血小板減少症候群（SFTS）		4類			●	国内希少種への影響が考えられる
133	腎症候性出血熱		4類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
134	ダニ媒介脳炎（フラビウイルス感染症として）		4類		○	●	
135	チクングニア熱		4類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
136	つつが虫病		4類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
137	デング熱		4類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
138	日本紅斑熱		4類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
139	Bウイルス病		4類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
140	発しんチフス		4類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
141	ボツリヌス症		4類		○		中毒
142	マラリア		4類		○	●	
143	ライム病		4類		○	●	
144	リッサウイルス感染症		4類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
145	レジオネラ症		4類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
146	ロッキー山紅斑熱		4類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)

*1 家畜：家畜伝染病 届出：届出伝染病

*2 1類：一類感染症 2類：二類感染症 3類：三類感染症 4類：四類感染症 5類：五類感染症
 新型インフル等：新型インフルエンザ等感染症

No.	疾病名	家伝法*1	感染症法*2	OIE		リスク評価 対象（案）	備考
				リスト疾病	非リスト疾病		
147	アメーバ赤痢		5類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
148	ウイルス性肝炎（E型及びA型を除く）		5類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
149	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		5類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
150	クリプトスポリジウム症		5類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
151	クロイツフェルト・ヤコブ病		5類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
152	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		5類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
153	後天性免疫不全症候群		5類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
154	ジアルジア症		5類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
155	侵襲性インフルエンザ菌感染症		5類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
156	侵襲性髄膜炎菌感染症		5類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
157	侵襲性肺炎球菌感染症		5類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
158	水痘（入院例に限る）		5類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
159	先天性風しん症候群		5類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
160	梅毒		5類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
161	播種性クリプトコックス症		5類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
162	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		5類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
163	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		5類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
164	百日咳		5類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
165	風しん		5類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
166	麻しん		5類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
167	薬剤耐性アシネトバクター感染症		5類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
168	RSウイルス感染症		5類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)

*1 家畜：家畜伝染病 届出：届出伝染病

*2 1類：一類感染症 2類：二類感染症 3類：三類感染症 4類：四類感染症 5類：五類感染症
 新型インフル等：新型インフルエンザ等感染症

No.	疾病名	家伝法*1	感染症法*2	OIE		リスク評価 対象（案）	備考
				リスト疾病	非リスト疾病		
169	咽頭結膜炎		5類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
170	A群溶血性連鎖球菌		5類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
171	水痘		5類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
172	手足口病		5類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
173	伝染性紅斑		5類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
174	突発性発しん		5類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
175	ヘルパンギーナ		5類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
176	流行性耳下腺炎		5類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
177	インフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型イン フルエンザ等感染症を除く）		5類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
178	急性出血性結膜炎		5類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
179	流行性角結膜炎		5類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
180	性器クラミジア感染症		5類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
181	性器ヘルペスウイルス感染症		5類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
182	尖圭コンジローマ		5類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
183	淋菌感染症		5類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
184	クラミジア肺炎（オウム病を除く）		5類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
185	感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるもの に限る）		5類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
186	細菌性髄膜炎（インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺 炎球菌を原因として同定された場合をのぞく）		5類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
187	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		5類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
188	マイコプラズマ肺炎		5類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
189	無菌性髄膜炎		5類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
190	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		5類				動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)

*1 家畜：家畜伝染病 届出：届出伝染病

*2 1類：一類感染症 2類：二類感染症 3類：三類感染症 4類：四類感染症 5類：五類感染症
 新型インフル等：新型インフルエンザ等感染症

No.	疾病名	家伝法*1	感染症法*2	OIE		リスク評価 対象（案）	備考
				リスト疾病	非リスト疾病		
191	薬剤耐性緑膿菌感染症		5類				動物への影響が小さいと考えられる （家伝法、OIE指定なし）
192	新型コロナウイルス感染症		新型インフル等			●	国内希少種への影響が考えられる
193	心水症			○		●	
194	旋毛虫症（トリヒナ症。 <i>Trichinella</i> spp.）			○	○	●	
195	新世界ラセンウジバエ（ <i>Cochliomyia hominivorax</i> ）			○		●	
196	旧世界ラセンウジバエ（ <i>Chrysomya bezziana</i> ）			○		●	
197	サルモネラ症（羊及び山羊。羊流産菌等。家伝法対象外）			○		●	
198	囊虫症（豚囊虫症を含む）			○		●	
199	七面鳥鼻気管炎（鳥ニューモウイルス感染症）			○		●	
200	ミツバチトゲダニ（ <i>Tropilaelaps</i> spp.）の寄生			○			蜜蜂の感染症
201	ハチノスムクゲケシキスイ（ <i>Aethina tumida</i> ）の寄生			○			蜜蜂の感染症
202	ラクダ痘			○			ラクダのみに感染
203	リーシュマニア症			○		●	
204	ラナウイルス感染症（野生動物における）				○		両生爬虫類の感染症
205	藻類毒素中毒				○		中毒
206	アライグマ回虫症（ <i>B. procyonis</i> ）				○	●	
207	化学中毒				○		中毒
208	サーコウイルス感染症				○	●	
209	ゾウ（内皮細胞親和性）ヘルペスウイルス感染症				○		ゾウのみに感染
210	脳心筋炎ウイルス感染症				○	●	
211	ヨーロッパ褐色野ウサギ症候群ウイルス感染症				○	●	
212	肝蛭：巨大肝蛭（ <i>F. gigantio</i> ）				○	●	

*1 家畜：家畜伝染病 届出：届出伝染病

*2 1類：一類感染症 2類：二類感染症 3類：三類感染症 4類：四類感染症 5類：五類感染症
 新型インフル等：新型インフルエンザ等感染症

No.	疾病名	家伝法*1	感染症法*2	OIE		リスク評価 対象（案）	備考
				リスト疾病	非リスト疾病		
213	肝蛭：巨大肝吸虫 (<i>F. magna</i>)				○	●	
214	ネコ白血病ウイルス感染症				○	●	
215	ウミガメの線維乳頭症				○		両生爬虫類の感染症
216	ハンタウイルス感染症（ハンタウイルス肺症候群）		4類		○	●	
217	免疫不全ウイルス感染（ネコ科、サル）				○	●	
218	フラビウイルス感染症（跳躍病を起こすもの）				○	●	
219	リステリア症（野生動物における。 <i>L. monocytogenes</i> ）		5類（細菌性髄膜炎）		○	●	
220	イヌジステンパー（イヌ科、ネコ科のモルビリウイルス感染症の1つ）				○	●	
221	モルビリウイルス感染症（海生哺乳類）				○	●	
222	モルビリウイルス感染症（ヒトを除く霊長類）				○	●	
223	マイコトキシン中毒（カビ毒、真菌毒）				○		中毒
224	乳頭腫症（クロコダイルにおける）				○		両生爬虫類の感染症
225	リスト疾病に含まれないパラミクソウイルス感染症				○	●	
226	パルボウイルス感染症				○	●	
227	リスト疾病に含まれないポックスウイルス感染症				○	●	
228	疥癬（ヒゼンダニ症、 <i>S. scabiei</i> ）				○	●	
229	ヘビ真菌症（ <i>Ophidiomyces ophiodiicola</i> ）				○		両生爬虫類の感染症
230	異常な病態または死亡事案（原因不明）				○		特定の病原体、疾病ではない
231	コウモリの白鼻症候群				○	●	
232	エルシニア症（腸炎エルシニア感染症。 <i>Yersiniosis enterocolitica</i> 。人にも感染）				○	●	
233	エルシニア症（仮性結核菌感染症。 <i>Yersiniosis pseudotuberculosis</i> 。人にも感染）				○	●	
234	コクシジウム症					●	国内希少種への影響が考えられる
235	ネコ伝染性腹膜炎					●	国内希少種への影響が考えられる
236	ネコカリシウイルス感染症					●	国内希少種への影響が考えられる
237	ネコウイルス性鼻気管炎					●	国内希少種への影響が考えられる

*1 家畜：家畜伝染病 届出：届出伝染病

*2 1類：一類感染症 2類：二類感染症 3類：三類感染症 4類：四類感染症 5類：五類感染症
 新型インフル等：新型インフルエンザ等感染症